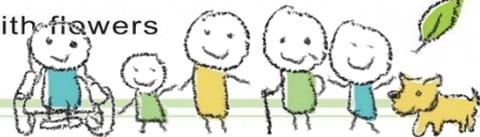


# 花のある公園だより vol.3

workshop report of making the public park with flowers

清瀬市 水と緑の環境課 緑と公園係 2019年10月発行



清瀬の中里「台田の杜」のお隣に新しい公園をつくります！ 四季折々に花が咲き、誰もが憩い楽しむことができる公園を、みんなでつくっていきます。今年は全部で5回のワークショップを開催して、どんな公園にするのかを決めていきます。おたよりでは、ワークショップの様子や決まったことなどをお知らせします！

## 10/2、第3回ワークショップ開催！



20名の方が集まってくださいました！テーブルには、公園予定地で咲いたコスモス。花が季節折々に咲くいい公園になりますように…と、話し合いをはじめました。



第1回、2回では、たくさんの市民のみなさんから公園についての意見が集まりました。その結果をまとめて公園の計画の方向性を探ろうというのが第3回の目的です。そんな中、こんな意見が。



何人かの方から

「夢を語る公園の話もいいけれど、清瀬市内でも管理が悪くて草ぼうぼうの公園が現状でもある。だからつくる話より**維持管理体制**について先に考えるべきではないか？」

とても貴重なご意見が…



第5回に管理について考える会を予定していましたが、参加された多くの方の関心が**維持管理体制**にあったため、そんなことも含めてグループで今考えていることを口に出してみようということで、少人数でまずはディスカッションをし、それを全体で発表しました。その後、市からは次のような説明が…

市も「維持管理」は公園で一番大切なことの1つと考えています。このワークショップはみなさんが欲しいと思う公園について意見していただき、**使い方から管理の内容や、その方法などについて一緒に考えていきたいと開催しました。いい公園は市民のみなさんが「公園に来たい！」「使い倒したい！」と思ったときに実現します。そのため計画づくりをぜひ一緒にお願いたします。**

管理が大切という視点は同じでした



そして、管理面も考慮しての「みんなの意見を最大公約数的に取り入れた公園たたき案」についてイメージ写真を示しながら説明し、具体的なやりとりは第4回に持ち越しとなりました。みなさんが地域の公園のために真剣に考えを伝え合う対話の時間は大切です。こんなふうに「想いを伝えたい！」と思う人が既にある公園。どんなふうに展開していくか楽しみです。